

## 平成31年度全国学力・学習状況調査の 中学校英語「話すこと」調査に向けて

全国学力・学習状況調査の実施に当たっては、平素よりご理解・ご協力いただきありがとうございます。

来年4月18日（木）に実施予定の「平成31年度全国学力・学習状況調査」における中学校英語の「話すこと」調査では、各学校のコンピュータ室等のPC端末、配布するUSBヘッドセット及びUSBメモリを活用し、音声録音方式により、一学級が同時に調査を行います（時間割モデルは別紙参照）。

つきましては、現時点における来年度の中学校英語「話すこと」調査の具体的な手順について次ページ以降にお示ししますので、事前のご確認・ご準備をよろしくお願いいたします。具体的な確認・準備作業については、各学校のICT環境によって異なりますが、確認事項の一例をまとめましたので、ご参照ください。

今後の段取りとしては、本年11月中旬に、文部科学省より教育委員会等を通じて、各学校のICT環境（具体的にどのようなPCを使用しているか等）を把握させていただく予定です。その後、12月頃、「平成31年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」を公表し、参加意向調査を行います。また、来年1月には、事前にPCの動作確認が行えるよう、Webシステムを通じて「事前検証ツール」をダウンロードできるようにする予定です。この「事前検証ツール」は、来年度の中学校英語「話すこと」調査と同じ調査プログラムでの検証となりますので、確実に実施していただくよう、よろしくお願いいたします。

なお、来年1月以降に、文部科学省による主に都道府県等の担当者を対象とした中学校英語「話すこと」調査に関する説明会を実施する予定です。

## 来年度の中学校英語「話すこと」調査の手順

事前準備

- ① 調査プログラムを Web システムから学校の PC にダウンロード
- ② 調査プログラムを生徒用 PC に展開（コピー）

実施

- ③ 各 PC で調査を実施（音声データは PC 内のローカルドライブに保存）

回収

- ④ 調査実施後に USB メモリを用いて音声データを回収  
※生徒用 PC1 台 1 台から回収する方法の他に、サーバ経由で解答データを回収し、サーバから USB メモリを用いて全解答データを回収することも可能（詳細は別途ご連絡）

削除

- ⑤ 各 PC 内の残データを削除

### 確認事項（一例）

#### ■各 PC の性能、OS（基本ソフトウェア）の確認

各 PC で必要とされる性能は以下のとおりです。ただし、これはあくまで目安であり、他にインストールされているソフトウェアの影響を受ける可能性もあります。来年 1 月に配布予定の「事前検証ツール」にて、必ず事前検証を行ってください。

- OS : Windows7 以上
- HDD : 空き容量 2GB 以上
- メモリ : 4GB 以上
- その他 : USB 空きポート 1 ポート以上（調査用 USB ヘッドセットで利用）

#### ■セキュリティ環境や環境復元ソフト等の確認

セキュリティの関係上、事前登録した USB メモリしか使用できない設定になっていた（USB ポートを遮断）、新たなファイル等をコピーしても、再起動すると消えてしまう環境復元ソフトが導入されていたりする場合があります。これらの場合、調査の円滑な実施のために、一時的な設定の解除が必要となります。

また、フィルタリングソフトを導入している場合も、同様に一時的な設定変更の必要が生じる場合があります。

#### ■セキュリティ環境や環境復元ソフト等の解除の方法・手順の確認

上記のとおり、一時的な設定変更が必要となる場合があるため、適切に対応できるよう、予め設定方法をマニュアル化しておく等の対応が有効です。

## 《問合せの多い事項》

### Q1

来年度の中学校英語「話すこと」調査プログラムは、Windows 以外の OS に対応していますか。(Linux や Android にも対応していますか。)

来年度の中学校英語「話すこと」調査プログラムは、Windows 対応のものとなります。それ以外の OS の場合は、代替の端末を利用する等、Windows 環境で調査が実施できるよう、ご対応のほどよろしくお願いいたします。

### Q2

本年5月の英語予備調査との違いは、どのような点でしょうか。

英語予備調査では、調査前日に USB メモリが各学校に送付され、格納された調査プログラムの展開作業を行っていただきましたが、来年度の英語「話すこと」調査においては、事前に、Web システムから調査プログラムをダウンロードしていただけるよう改善を図っています。また、回収についてもサーバ経由の回収を可能とできるよう検討しています。

なお、本年5月に実施した英語予備調査の概要については、下記の国立教育政策研究所のホームページ (TOP > 全国学力・学習状況調査 > 英語予備調査) をご参照下さい。

[http://www.nier.go.jp/18chousakekkahoukoku/kannren\\_chousa/eigo\\_yobichousa.html](http://www.nier.go.jp/18chousakekkahoukoku/kannren_chousa/eigo_yobichousa.html)

### Q3

大規模校などで PC の台数が不足している場合は、どうしたらよいでしょうか。

来年度の中学校英語「話すこと」調査は、対象学年 (中学校3年生) が9学級以下の学校であれば、同一学級の生徒が一斉に、かつ、原則として、調査対象学年の生徒全員が3単位時間以内で終わるよう設計されています。なお、10学級以上の大規模校で3単位時間以内に調査が実施できない場合は、不足台数を貸し出す予定ですので、本年11月の「学校基本情報」の確認後、教育委員会等を通じてご相談ください。

(参考) 9学級の場合の時間割例

1時限目 (50分)	2時限目 (50分)	3時限目 (50分)	4時限目 (50分)	5時限目 (50分)	6時限目 (50分)
国語 (50分)	数学 (50分)	英語 「聞くこと」 「読むこと」 「書くこと」 (45分)	英語 「話すこと」 (1組、2組、3組) ※	英語 「話すこと」 (4組、5組、6組) ※	英語 「話すこと」 (7組、8組、9組) ※

※生徒質問紙 (20~45分程度) は、「話すこと」調査を実施していない時間帯に順次実施。

#### Q4

タブレット等USBポートがないPCの場合は、どうすればよいでしょうか。

来年度の英語「話すこと」調査は、デジタルで高音質の音声データを取得するため、USB ヘッドセットを使用します。そのため、各PCに最低1つのUSBポートが必要となります。

USBポートそのものが無かったり、USBメモリを読取不可にしていたりするPCを利用している学校については、代替機や変換コネクタの利用、設定変更の可否をご検討ください。

#### Q5

ヘッドセットは、学校で用意する必要があるのでしょうか。

調査に用いるヘッドセットは、文部科学省で用意します。来年1月頃に、検証用USBヘッドセット(1本)を各教育委員会及び各学校にお送りする予定です。これを用いてヘッドセットが正常に機能するかどうか事前検証を行ってください。また、調査当日に使用するヘッドセットは、調査前日に到着する資材に同梱します。

#### Q6

本年5月の英語予備調査で使用した調査用USBメモリ(コピー含む)を用いて検証作業を行った結果、問題なく動作しました。来年度の英語「話すこと」調査も問題ないと判断してよいでしょうか。

本年5月の英語予備調査で使用した調査用USBメモリ(コピー含む)を用いて検証作業を行っていただき、現時点での課題を把握していただくことは有効だと考えています。ただし、来年度の中学校英語「話すこと」調査は、予備調査プログラムに若干の改善を加えているため、来年1月にWebシステムを通じて配布する「事前検証ツール」による検証作業を必ず行ってください。(「事前検証ツール」のプログラムは、来年度の中学校英語「話すこと」調査と同じプログラム仕様となっています。)

※調査用USBメモリ(コピー含む)については、教育委員会等にお問合せください。

#### Q7

「事前検証ツール」が動作しなかった場合は、どうすればよいでしょうか。

環境を変更しなければならない可能性があります。今後Webシステムに掲載予定のFAQをご確認いただき、適宜設定変更を行ってください。ご不明点があれば、コールセンター(11月頃開設予定)もご活用ください。また、状況に応じて、各自治体の情報担当部局ともご相談ください。